

⑫ (株)フィート こえとら

⑫ (株)フィート こえとら (概要)

企業名	株式会社フィート
機器・サービス名	「こえとら」アプリ
問合せ先	こえとらアプリサポート窓口 サポートページ: https://www.koetra.jp/ E-mail: koetra-support/atmark/koetra.jp (注)スパムメール防止のため「@」を「/atmark/」と表記しています。
機器・サービスの概要	聴覚障害者と聞こえる人とのコミュニケーションを円滑にサポートするスマートフォンアプリです。音声を高精度に文字化する「音声認識」や、文字を音声にする「音声合成」技術を活用しています。「文字」と「音声」を交換し、また「定型文」や「絵文字」を使えば、会話相手へ気持ちを伝えられます。
機器・サービスの特徴	<p>1. 機器・サービスの機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ● スマートフォンやタブレット端末を使って、聴覚障害者と聞こえる人が普通に会話している状態とより近い状態でコミュニケーションすることが可能になります。 ● 様々な入力として、音声入力、文字入力、定型文や絵文字使用、手書き・地図に対応しています。 <p>2. 情報アクセシビリティの配慮内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 初めての会話相手には、「こえとら」の使い方をスライドを用いて簡単に伝えられます。 ● 定型文は、生活に必要な会話帳を作成したり、ダウンロードすることが可能です。 ● 文字表示は、文字サイズが大きい全画面に対応し、また、ひらがなカタカナ表示を選べます。 ● 合成音声は肉声により近く、また性別(男声、女声)や発話速度(遅い、早い)が変更できます。 ● 合成音声で発話したことが、「色」だけでなく「振動」でも伝わります。 ● 複数台接続が可能で、対面だけでなく、離れた人同士でも会話が可能です。

⑫ (株)フィート こえとら (概要)

特長

文字を音声で、伝えられます
 声を文字で、伝えられます
 定型文で、伝えられます
 手書きの情報を、伝えられます



テキスト入力



豊富な定型文

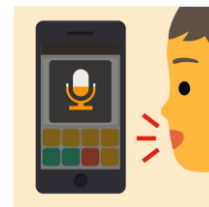
テキスト 定型文入力



<250 文字>



音声入力



<20 秒>



【複数台接続】
近距離文字チャット



【発話支援】
音声再生の活用

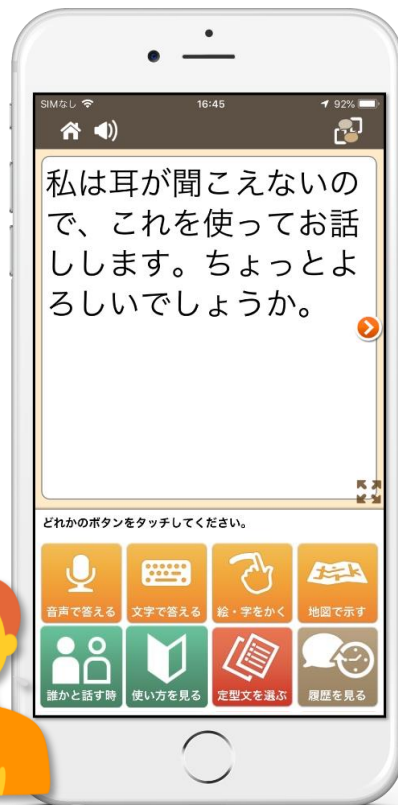
旅行先・観光地で



雇用企業・教育現場



医療現場・自治体



<提供元>



<開発元>

高精度な音声認識
と音声合成技術を
使用しています

<アプリダウンロード>



Download on the
App Store



GET IT ON
Google Play



⑫ (株)フィート こえとら (概要)

当事者ニーズを踏まえた開発

聴覚障害者のコミュニケーションを支援する「こえとら」アプリサービスは、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)による音声認識および音声合成技術の利活用の着想に基づき、聾学校の協力により開発されました。

以降、サポートHPや展示会からの問い合わせにより、高齢者・障害当事者(耳のきこえない人)やその当事者を支援する人の意見が日常的に収集され「こえとら」の進化に生かされてきました。これらの収集された意見に基づき、年に一度、アプリ機能の追加や削減についての精査を図り、企画段階では当事者、リハビリテーションセンター、および、大学研究機関の意見を伺い、たとえば、聾教育の学会発表を通じて専門家の意見を参考にして、開発費用対効果の検討を重ねた上で、機能のアップデートを実施しています。

実証段階においては、リハビリテーション施設の当事者による使用感のフィードバックを受けるなどして、効果検証を実施しています。さらに、「こえとら」にはスムーズなコミュニケーションに必要な定型文機能があり、旅行関係者の協力も得て、旅行中の会話を支援する「旅の会話帳」を追加して利便性は向上しました。今後も、展示会などを通じて意見を反映します。

企業としての取組

情報アクセシビリティに係るアプリ開発時の取り組みの一つに、アプリ利用者から個人情報を含む情報そのものの取り扱いに係る問い合わせがあります。そのため、企業としては、情報セキュリティマネジメントシステム(Information Security Management System: ISMS)の国際規格である「ISO/IEC 27001:2013 / JIS Q 27001:2014」の認証を取得しました。毎年、社員教育や内部監査、および認証の更新などを実施し、外部機関により情報セキュリティ対策への取り組みが認められています。

⑫ (株)フィート こえとら (審査結果)

1. 当事者・開発者の視点でみたときに、アクセシビリティ配慮として評価できる点

a. 製品が提供する価値

- 音声入力、音での伝達、定型文や絵文字使用、手書き対応、複数台接続が可能である。そのため、聴覚障害者ときこえる人が声を用いて会話しているような状況でコミュニケーションすることが可能になる。

b. 機能面でのアクセシビリティ配慮

- 合成音声の発話速度や性別を変更できる。
- 画面表示が分かりやすい。

2. 当事者にとって重要であるが、今後更なる配慮が期待される点(今後期待したい点)

a. 製品が提供する価値

- 発話者の感情やその場の雰囲気把握するための音声の強弱等の表現ができるよう期待する。
- 発話された内容をわかりやすい文章に変換する機能の搭載を期待する。
- 音声を手話に変換して表示できる機能の搭載を期待する。

b. 機能面でのアクセシビリティ配慮

- 文字出力結果の表示部分やアイコンの背景部分の色について、弱視等の人に配慮されたモードの搭載を期待する。
- 今後、点字ユーザーも使用できるようになることを期待する。

⑫ (株)フィート こえとら (審査結果)

3. 当事者ニーズを踏まえた開発について、優れている点

- ろう学校の協力により開発され、企画段階から改良に至るまで聴覚障害者の意見を取り入れており、教育現場のニーズも踏まえている。
- 利用場面を広範かつ具体的に押さえている。
- 「会話帳（旅先での定型文）」を追加。

4. 企業としての取組について、優れている点

- 情報セキュリティマネジメントシステムの国際規格「ISO/IEC 27001:2013 / JIS Q 27001:2014」の認証を取得している。
- 支援技術の提供企業として障害当事者と連携する仕組みができています。
- マーケットが必ずしも大きいわけではないにも関わらず、社会に役立つ製品を生み出そうとする姿勢が評価できる。